

2017ふゆトピア・フェア in 函館

開催日 2017.1/26 ・27 

開催場所 北海道 函館市 : 函館市民会館 (湯川町1丁目32番1号)
: 函館アリーナ (湯川町1丁目32番2号)
: 函館競馬場 駐車場 (深堀町21番19号)

Contents

オープニングセレモニー 1/26(木) 9:30-10:00
(会場 函館アリーナ メインアリーナ)

ふゆトピアシンポジウム 1/26(木) 14:00-17:00
(会場 函館市民会館 大ホール)

ふゆトピア研究発表会 1/27(金) 9:30-16:00
(会場 函館市民会館 小ホール、大会議室、小ホール前展示室)

ふゆトピア展示会 1/26(木) 10:00-17:00
1/27(金) 10:00-15:00
(会場 函館アリーナ メインアリーナ)

除雪機械展示・実演会、競技会 【除雪機械展示・実演会】
(会場 函館競馬場 駐車場) 1/26(木) 10:00-16:00
1/27(金) 10:00-15:00
【競技会】
1/26(木) 13:00-16:00

ふゆトピア交流会 1/26(木) 17:30-19:00
(会場 函館 湯の川温泉 花びしホテル(有料))

函館に集う
ヒト・モノ・技術から
北の暮らしの
イノベーション

入場
無料

【お問合せ】

2017ふゆトピア・フェアin函館 実行委員会事務局 (国土交通省 北海道開発局 開発監理部 開発調整課内)

☎ 011-709-2311 FAX 011-709-9215 ✉ hkd-ky-huyutopia2017@mlit.go.jp

ホームページ http://www.hkd.mlit.go.jp/kanribu/chosei/fuyutopia/top_hakodate.html

ふゆトピア函館

検索



❄️ 2017ふゆトピア・フェアin函館

はじめに

「ふゆトピア・フェア」は、国・地方公共団体・住民・NPO・企業など様々な方々が参加しています。北国の冬の課題の克服・冬を活かした地域づくりに関するハード・ソフト両面にわたる技術や取組について、意見交換や情報発信を行うことを目的に、東北・北陸の「ゆきみらい」と連携して、昭和61年から3年に1度、開催しています。

11回目の「2017ふゆトピア・フェアin函館」では、北海道新幹線開業から初めての冬を迎え、北海道と本州との広域交流のさらなる促進が期待されることを契機に、多様な雪国同士のヒト・モノ・技術の交流と連携がイノベーションを促し、冬期における生活環境や防災力の向上、観光振興や地域活性化に資することを目指し、「函館に集う／ヒト・モノ・技術から／北の暮らしのイノベーション」をテーマとしています。

平成29年1月26日～27日の2日間にわたり、函館市民会館、函館アリーナ、函館競馬場駐車場にて、次のイベントを実施します。

ふゆトピアシンポジウム

北海道・東北・北陸のこれまでの交流の歴史を振り返りながら、世界に目を向けた観光地域づくりにあたり、積雪寒冷地という共通の条件を持つ北海道・東北・北陸の各地域が、「ふゆ」の資源を活かした魅力のある観光地域づくりに関し、どのように連携・交流していくことが必要なのか考えます。

ふゆトピア研究発表会

北国、特に冬期における安全・安心な生活を守るため、また、北国の観光を発展させるため、施設管理者の日頃の取組や様々なインフラ整備及び維持管理につ

いて論文を募集し、情報交換を行います。

ふゆトピア展示会

冬期における生活環境や防災力の向上、観光振興や地域活性化のために必要な積雪寒冷対策技術や情報などを、企業・団体・行政のブース展示により紹介し、北国の克雪、利雪、親雪に関する取組などについて情報発信します。

除雪機械展示・実演、競技会

除雪機械の展示・実演を通して最先端の技術を紹介し、除雪機械・装置の技術革新や除雪事業の取組についてご理解いただくとともに、除雪オペレーターの操作技術の向上を目的に競技会（チャンピオンシップ）を開催します。

おわりに

2017ふゆトピア・フェアin函館は、どなたでも参加できるイベントです。

ふゆトピアシンポジウムでは、吉田類さんをお招きし講演いただく予定です。

研究発表会は、最新の研究成果による知見を得られる良い機会になります。

展示会会場では、これまで各企業が研鑽^{けんさん}し開発してきた最新の技術等が見られます。

機械展示会場では、普段見られない大型機械のパワフルさや、競技会での除雪機械の正確な動作など、小さな子供たちもわくわくするような展示が行われます。

本フェアが充実したものになるよう、実行委員会では企画運営に尽力していますので、是非会場にお越しくださいますようお願い申し上げます。



研究発表会



展示会



機械展示・実演会

※写真は2014ふゆトピア・フェアin釧路での開催状況です。

❄️ 2017ふゆトピア・フェア in 函館

ふゆトピアシンポジウム

世界に目を向けた北国の観光

入場無料
事前申込
必要

日時 2017.1/26 未 14時~17時
(開場13時)

場所 函館市民会館 大ホール (湯川町1丁目32番1号)

市電「函館アリーナ前(市民会館前)」下車 ※会場へは公共交通機関でお越し下さい。

プログラム

13:00 開場
14:00-14:15 開会 主催者挨拶
14:15-15:15 基調講演

「大人の好奇心を満たす旅へ
～青函新時代に切り込む“旅人類”～」

講師 吉田 類 氏

15:15-15:30 休憩
15:30-17:00 パネルディスカッション

「世界に目を向けた観光地域づくりにあたっての
北海道・東北・北陸の魅力ある地域づくり、連携・交流を考える」

コーディネーター

奥平 理 氏 (函館工業高等専門学校一般人文系 教授)

パネリスト

阿部 千春 氏 (北海道縄文世界遺産推進室特別研究員)

角田 周 氏 (津軽地吹雪会代表)

桑島 繁行 氏 (知床北こぶしグループ (株)知床グランドホテル/(株)知床プリンスホテル 代表取締役社長)

小林 昌子 氏 (南魚沼市女子力観光プロモーションチーム設立者・初代リーダー)

津山 睦 氏 (道の駅 みそぎの郷きこない 観光コンシェルジュ)

17:00 閉会



基調講演は
テレビ・ラジオ・新聞等
多くのメディアでご活躍
中の吉田 類さん
です!

Hokkaido

Tohoku

Hokuriku

【お申込み】

Eメールでお申込みの場合、①氏名、②会社名/課所名/役職名、③電話番号、④メールアドレスをメール本文に記入し、下記「お問合せ」先のメールアドレス(二次元バーコードが使えます)までお送りください。(裏面のお申込み欄がホームページからダウンロードできる申込書を使い、EメールまたはFAXでのお申込みも可能です)

※当日参加も可能ですが、定員に達しお断りする場合がございますので、お早めの事前申し込みをお願いいたします。

※ご記入いただいた個人情報は、シンポジウムを円滑に行うためのものであり、それ以外の目的、または第三者への提供はいたしません。



【お問合せ】

2017ふゆトピア・フェアin函館 実行委員会事務局 (国土交通省 北海道開発局 開発監理部 開発調整課内)

☎ 011-709-2311 FAX 011-709-9215 ✉ hkd-ky-huyutopia2017@mlit.go.jp

ホームページ http://www.hkd.mlit.go.jp/kanribu/chosei/fuyutopia/top_hakodate.html

ふゆトピア函館

検索



開催趣旨

北海道・東北・北陸のこれまでの交流の歴史を振り返りながら、世界に目を向けた観光地域づくりにあたり、積雪寒冷地という共通の条件を持つ北海道・東北・北陸の各地域が、「ふゆ」の資源を活かした魅力のある観光地域づくりや、どのように連携・交流していくことが必要なのか考えたいと思います。

基調講演

講師
吉田 類 氏



高知県出身。イラストレーター、エッセイスト、俳人。酒場文化や旅をテーマに執筆活動を続けている。北海道を愛し、長期滞在する傍ら、自身が責任編集を務める大人の旅ガイド『旅人類』（企画：㈱ドーコン）で、各地域の魅力を紹介している。酒場を求めて街をぶらつく BS-TBS『吉田類の酒場放浪記』は放送から13年目を迎える人気番組。NHK ラジオ深夜便『ないとガイド～酒で綴るにっぽんの旅』（月1回放送）、北海道新聞連載エッセイなど多くのメディアで活躍中。著書は中公新書『酒場詩人の流儀』他多数。

パネルディスカッション



コーディネーター
奥平 理 氏
函館工業高等
専門学校
一般人文系 教授

函館市出身。広島大学大学院修了。北海道函館中部高等学校教諭、函館工業高等専門学校准教授を経て、2016年より現職。専門分野は都市地理学（港湾・観光）。函館開発建設部管内協働型道路マネジメント会議委員長や函館市観光アドバイザー会議委員長などの公職をつとめるほか、函館においてまちあるきガイドの育成にも携わっている。



パネリスト
阿部 千春 氏
北海道縄文
世界遺産推進室
特別研究員

立正大学文学部史学科（考古学専攻）卒。北海道埋蔵文化財センター等に勤務。2011年函館市縄文文化交流センター館長を経て現職。縄文遺跡群の世界遺産登録推進をはじめ、歴史・文化を活用した観光振興やまちづくりなど文化遺産のネットワークづくりに取り組んでいる。



パネリスト
角田 周 氏
津軽地吹雪会代表

日本大学芸術学部音楽科卒業後、音楽事務所に就職。帰郷し1987年に企画集団「ラブリー金木」を設立。1988年雪国地吹雪体験ツアーを企画し、注目を集める。その後もワールド青函トンネルウォーク、津軽半島観光ネットワークなど地域観光に携わり、2003年には観光カリスマに認定。



パネリスト
桑島 繁行 氏
知床北こぶしグループ
(株)知床グランドホテル/
(株)知床プリンスホテル
代表取締役社長

平成5年知床グランドホテル、平成25年知床プリンスホテル代表取締役社長に就任。平成16年から21年には、オホーツク観光連盟会長として、地域の観光振興に尽力。また、(一社)日本旅館協会北海道支部連合会会長、(公社)北海道観光振興機構副会長などを歴任し、現在(一社)日本旅館協会本部監事。



パネリスト
小林 昌子 氏
南魚沼市女子力観光
プロモーションチーム
設立者・初代リーダー

観光バスガイド25年の経験を活かし2010年に南魚沼市女子力観光プロモーションチームを設立。初代リーダーを務め、現在はチームのアドバイザー。女性目線から「雪国の宝」を発掘し発信しながら、雪国文化を観光や学校の授業に活用し、観光関連事業への提案をするなど地域の人材育成・文化伝承に尽力。



パネリスト
津山 睦 氏
道の駅
みそぎの郷きこない
観光コンシェルジュ

北海道木古内町生まれ。大学進学を機に上京し、そのまま都内で就職。2012年木古内町にUターン。北海道新幹線木古内駅開業をきっかけに、道南の広域観光、青函の女性たちでつくる「津軽海峡マグロ女子会」に参加。現在「道の駅みそぎの郷きこない」で観光振興に携わる。

会場案内

函館市民会館

[電車]

JR函館駅より市電で約30分(240円)

タクシーで約18分(1900円程度)

[飛行機]

函館空港より路線バスで約22分(300円)

タクシーで約13分(1500円程度)

※会場へは公共交通機関でお越し下さい。



お申込み

下欄に必要事項をご記入の上、下記のメールアドレスまたはFAX番号までお送りください。(申込書は、ホームページからもダウンロードできます)

[E-mail] hkd-ky-huyutopia2017@mlit.go.jp

[FAX] 011-709-9215

①氏名(ふりがな)	②会社名/課所名/役職名	③電話番号	④メールアドレス